

第 21 回教育研究審議会

議事概要

開催日:平成 31 年 2 月 13 日 (水)

場 所:本部棟 3 階大会議室

出席者: 福田誠治学長、阿毛久芳副学長、新保祐司副学長、谷内治彦事務局長、小林重雄理事、西尾理学長補佐、平野耕一学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、樋口雄人学長補佐、加藤敦子国文学科長、中地幸英文学科長、山本芳美比較文化学科長、寺川宏之学校教育学科長、高田研地域社会学科長、竹島達也大学院研究科委員長、野中潤図書館長(兼)情報センター長、廣田健教職支援センター長、竹下勝雄地域交流研究センター長、大辻千恵子国際交流センター長、豊嶋朗子語学教育センター長、市原学入学センター長、矢嶋亘総務課長、小宮文彦経営企画課長、澄川宏学生課長

欠席者: なし

■挨拶

福田誠治学長よりあいさつ

議 事

- (1) 専任教員の採用について (地域社会学科) (投票)

◇国際政治学

○投票の結果、信任多数により承認。

- (2) 特任教員 (C タイプ) の採用について (新国際教育学科改編準備室) (投票)

◇交換留学生のインターンシップ指導 (特任 C タイプ)

○投票の結果、信任多数により承認。

- (3) 専任教員の昇任について (国文学科) 1 件 (投票)

◇国文学科専任教員 (講師→准教授)

○投票の結果、信任多数により承認。

- (4) 専任教員の昇任について (学校教育学科) 3 件 (投票)

◇学校教育学科専任教員 (准教授→教授)

○投票の結果、信任多数により承認。

◇学校教育学科専任教員 (准教授→教授)

○投票の結果、信任多数により承認。

◇学校教育学科専任教員 (講師→准教授)

○投票の結果、信任多数により承認。

- (5) 専任教員の昇任について（地域社会学科）1 件（投票）
◇地域社会学科専任教員（准教授→教授）
○投票の結果、信任多数により承認。
- (6) 専任教員の昇任について（英文学科）
◇英文学科専任教員（准教授→教授）
○担当から資料 6 に基づき説明。2 週間の閲覧に供し、次回投票する。
- (7) 専任教員の昇任について（学校教育学科）
◇学校教育学科専任教員（准教授→教授）
○担当から資料 7 に基づき説明。2 週間の閲覧に供し、次回投票する。
- (8) 教員配置計画について
◇学校教育学科（美術） 特任教員（B タイプ）
○担当から資料 8 に基づき説明。教員の募集について、意見があれば明日の昼頃までに学長に報告し、夕方にはホームページでお知らせする。
・締切は 3 月 1 日（金）とし、4 日（月）に選考委員会を開く。13 日の教育研究審議会で提案し、最終的には 27 日（水）決定する。
・職務内容（1）の美術等を美術棟に修正する。
・今回の会議で選考委員会の委員も決定。
- (9) 非常勤講師採用候補者に係る資料について（英文学科）
◇言語文化第 1 演習Ⅳ
○担当から資料 9 に基づき説明。提案通り承認。
・様式 2 がないので、教授会の報告までに作成してもらう。
- (10) 非常勤講師担当科目コマの発議・提案について（学校教育学科）
○担当から資料 10-1 に基づき説明。提案通り承認。
◇教育入門、教育方法論（中等）
○担当から資料 10-2 に基づき説明。提案通り承認。
・教職入門については、来年度のみ 2 クラス増とするため。
・教育方法論（中等）については、現担当者の持ちコマ超過を解消するため。
- (11) 非常勤講師担当科目コマの発議・提案について（地域社会学科）
○担当から資料 11-1 に基づき説明。提案通り承認。
◇環境経済学
○担当から資料 11-2 に基づき説明。提案通り承認。
・担当者の退職に伴う提案。
- (12) 非常勤講師担当科目コマの発議・提案について（語学教育センター）
○担当から資料 12-1 に基づき説明。提案通り承認。
◇英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
○担当から資料 12-2 に基づき説明。提案通り承認。
・担当者退職に伴う調整の結果、これらの科目の担当者が必要になったため。

- (13) 入試選考委員会規則（案）について
○担当から資料 13 に基づき説明。一部修正し承認。
・第 2 条 2 号に各学科長を含む各 3 名に修正する。
・大学全体の入試を決めるのに 2 名だけでいいのか。
→入学センターからの要望としては、入試選考を後に回すことはできないので、確実に集めるようにセーフティネットがあったほうがいい。
- (14) 平成 31 年度非常勤講師の授業担当科目取消しについて（第 6 回）
○担当から資料 14 に基づき説明。提案通り承認。
・担当教員の本務校決定に伴う取消し。
- (15) 平成 31 年度非常勤講師の授業担当科目継続について（第 8 回）
○担当から資料 15 に基づき説明。提案通り承認。
・「学校経営と学校図書館」は専任教員が担当し、「学校図書館メディアの構成」は別の非常勤講師が担当する。
- (16) 教務・教職関係事務に関する要望を受けて
○担当から資料 16 に基づき説明。提案通り承認。
・教務・教職関係事務に関する要望を受けて、定期試験に係る問題の管理及び印刷についての提案と、次年度授業担当教員に係わるスケジュールについての提案があった。
・実際に行って問題があれば改善していく。
- (17) 初等教育学科非常勤講師の問題について
○次回審議する。
- (18) 交換留学の将来について
○担当から資料 18 に基づき説明。提案通り承認。
・国際交流センターはこれまで通りアメリカ型の TOEFL 等による選抜制度を続けていく。
→新規の大学を開拓する。また、教員が出張して交流を維持する活動を行う。
・国際教育学科の交換留学はヨーロッパ型の CEFR による希望者全員留学を目指す。
→今後、全学的に希望者が出てくることを予想して事務体制を整える。
・語学留学のみの協定校留学を新設する。
- (19) 日付問題の経緯について
○担当から資料 19 に基づき説明。提案通り承認。
・国際教育学科の人事（国際教育）について、教授会で書類の日付がおかしいとの指摘があったので、2 月 13 日に臨時の教員選考委員会を開き、日付の経緯が報告され、実質的に問題がないことを確認した。

3 報 告

- (1) 退任後の研究室図書取扱について
○担当から資料 20 に基づき報告。
・研究室から引き上げてきた図書が 1 階閉架に収納できずに、開架まで占拠しているので重複図書などを中心に選別を行う。
・他の研究室に必要な図書は、引き取ってもらえるようにリスト化する。

(2) 都留文科大学前期・中期の志願者数について

○担当から資料 21 に基づき報告。

・平成 31 年度入学試験（前期・中期）の志願者数の報告があった。

4 その他

○特になし

5 閉 会

以上